

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信							
会計情報	事業コード	410395	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
施策体系	施策コード	50103		施策名	市民の健康を増進する											
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名									
根拠法令等	予防接種法、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱に基づき、新型コロナウイルスワクチンが実用化された際に、円滑に接種を実施できるように、必要な体制を整える。					
対象者	16歳以上の市民		対象者数	65,700	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		9,715		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		0		9,715		0								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		9,715		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		△ 4,400		0		0						
	② 配当予算	0		5,315		0		0						
	③ 執行額	0		2,673		0		0						
	④ 執行率			50.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.73	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		5,840		0		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		8,513		0		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	令和2年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	2,673		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	必要物品購入率	%		/	80 / 100	/ -	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	システム改修等成果物の完成度	%		/	100 / 100	/ -	
	単位あたりコスト				26.7		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・新型コロナウイルスワクチンが供給可能となった場合には、速やかに住民に対する接種を開始できるよう、予め準備を進めていく必要がある。 ・体制確保事業実施要綱により、市町村が行う業務として明記されている。 ・予防接種を行うためには必要な内容であり、かつ完成までに時間を要するため、早期に着手する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・物品の購入にあたっては、複数業者から見積もりをとり、より安価な価格の業者に発注を行っており、コスト削減に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・物品は年度末までに納品の見込みが立っている。 ・予防接種台帳システム改修も終了し、接種券の発行、接種情報の入力や管理が行える環境が整っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・接種券(クーポン券)、予診票は、国の指示に基づいた内容で印刷発注ができており、納入の見通しもできている。 ・予防接種台帳システム改修も終了し、接種券の発行、接種情報の入力や管理が行える環境が整っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後、本格的にワクチン接種を開始するにあたり、円滑にワクチン接種を進めることができるよう必要な体制整備を行う。(本事業としては、R2年度で終了。今後は新型コロナウイルスワクチン接種事業にて実施する)		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	あんしんマスクお届け事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410393	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
施策体系	施策コード	50103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルスの感染拡大に伴ってマスク不足に関する市民の不安やストレスを軽減するため、購入を希望する世帯が市内の店舗でマスクを安価に購入できるよう、市内のスーパーと協働して取組む。					
対象者	市内の世帯		対象者数	36,461	単位あたりコスト	1,610.63円
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (株式会社との協働)					
委託先・実施主体等	株オカムラ印刷・株式会社・株式会社フレッシュフロンティア					
事業概要 (箇条書き)	・市から全世帯にマスク購入券を1枚発送。 ・希望する世帯は、市内のさとう9店舗にて、購入券1枚で専用のマスク1箱(50枚入り)を税込み1,760円で購入。 ・販売期間は5/28～6/30。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容			
	需用費	48,264	消耗品費・印刷製本費			
	役務費	2,476	郵送料・広告料			
	負担金補助及び交付金	16,510	負担金			

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		58,725		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		0		58,725		0								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		58,725		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		8,525		0								
	② 配当予算	0		67,250		0								
	③ 執行額	0		67,250		0								
	④ 執行率			100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.27	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		2,160		0								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		69,410		0								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	あんしんマスクお届け事業(地方創生臨時交付金)		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	67,250		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	マスク購入率	%		/	41.7 / 78	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	マスク券の発出数	通		/	36,461 / 36,461	/	
	単位あたりコスト				1.8		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	マスク不足が著しい状況の中、市内(近場)でマスクを安価に購入することができ、市民の不安やストレスが軽減につながることから、必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	購入券の作成は見積りによって業者を選定した。広報は、市からとさとうからと二重で行えた。販売は嶺さとうに依頼し、官民協働事業で効率的に取り組めた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	他の自治体でもマスク事業は行われたが、本市は他より安価にマスクを提供することができたことから、有効性は認められた。しかし、購入率は41.7%と見込みよりも低値だった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	5/1の議決前から迅速な事務処理に努めたが、販売時期にはマスク不足が解消されつつあったこともあり購入率は伸びなかった。しかし、購入を希望する世帯にはマスクをお届けできた。		
これまでの課題及び今後の方向性	健康危機管理事業で購入予定だった福祉施設等への配布用マスクを売れ残った分から拋出した。その後も残っている分は感染症の拡大等で必要となった時に使用するための備蓄用とする。併せてマスクの劣化が進まないうちに、配布先の検討等も行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・有効性の評価は、「他の自治体でもマスク事業は行われた」ことから、他市よりいくらく配布できたのか、配布率がどうだったのか、配布時期はどうであったか、整理や評価が必要である。
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス感染症対策室事務費															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410392	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	140・142	頁
施策体系	施策コード	50103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法、福知山市新型インフルエンザ等対策行動計画及び対策本部規定															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国府の動向や地域の感染状況に応じた本市の意思決定・統一を図ることにより、市民の命と健康を守り、地域経済・雇用を支える。					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	0		0		835		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		0		0		835								
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		835								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決 算 情 報	① 流充用額	0		990		0		0						
	② 配当予算	0		990		0		0						
	③ 執行額	0		797		0		0						
	④ 執行率			80.5%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	3.00	/	0.00	3.00	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		24,000		24,000		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		24,797		24,000		0						
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	保健衛生費指定寄附金		種 類	衛生費指定寄附金		実績金額	367		決算付属資料	38		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	新型コロナウイルス感染者数	人		/	77 / 0	/	
				/	/	/	
	支援制度冊子発行	%		/	11 / 10	/	10
	単位あたりコスト				72.5		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・国府の動向や陽性者の発生状況に応じた意思決定及び統一を図るための対策本部を円滑に運営するため、事務局の運営は必要である。 ・陽性者が発生した際に、必要に応じて京都府(保健所)と連携し、対応する。 ・政府による緊急事態宣言発令による京都府緊急事態措置の要請内容や、コロナ支援制度の周知は、市民にとって必要なことである。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・本事業費用としては、管理事業のみである。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・緊急事態措置を受けた対応や、支援制度について、他市情報収集や意見交換等に努めた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・国府の動向や陽性者の発生状況に応じて対策会議や対策本部を設置し、意思決定・統一を図ることができた。迅速かつ臨機応変な対応が必要だったが、混乱することなく有効に機能した。 ・情報発信・啓発については、秘書広報課と連携し、わかりやすい表現、情報発信のタイミングなど随時見直し、発信した。一方で、ホームページやSNSを利用できない方に、迅速にわかりやすく情報を発信し、的確に伝えるためには、複数媒体での広報が必要となる。 ・感染者や医療従事者に対する誹謗中傷等防止のため、人権への配慮と冷静な行動をお願いするメッセージをホームページや広報誌等で重ねて発信した。		
これまでの課題及び今後の方向性	・今後も国及び府の施策展開や市内感染状況の変化に即応できるよう、動きや流れを予想しながらできる限りの準備を整える。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	第2次福知山市健康増進計画策定事業														
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410388	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
施策体系	施策コード	050103		施策名	市民の健康を増進する										
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市健康推進計画							
根拠法令等	健康増進法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	(第1次) 福知山市健康増進計画の最終評価を行い、市民一人ひとりが自ら健康づくりに取組むまちの実現に向けて健康づくりの指針となる第2次福知山市健康増進計画を策定する。				
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		4,362		496		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		0		4,362		496							
予算財源内訳	① 一般財源	0		2,181		496							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		2,181		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	0		4,362		0		0					
	③ 執行額	0		3,311		0		0					
	④ 執行率	0.0%		75.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.36	/	0.00	0.36	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		2,880		2,880		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		6,191		2,880		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	改善した評価項目数	項目	0	0 / 0	17 / 30	/ 30	30
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	アンケート回収数	通	0	0 / 0	4,046 / 3800	/ 3800	3800
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.8		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市の現状を踏まえた健康づくりの指針を策定することは、より効果的に健康増進を図るうえで必要性の高いことである。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	データ分析の精度を上げるために、年代別の回収率に基づいた発送数を設定し、十分な標本数が確保できるよう工夫した。お礼状兼督促状を送付し、回収率の増加を図った。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	アンケートは、目標であった3,800通を超える4,046通を回収することができた。より多くの市民の健康づくりに関する情報を収集することができ、有効性の高い取組であった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市民アンケートは、20歳以上の男女8,000人を無作為に抽出して発送した。有効回答数は4,046通(50.58%)であり、目標の3,800通を超える返送があった。 第1次計画の評価項目の達成状況について、改善した項目は、30項目のうち17項目という芳しくない結果であった。次期計画においては、目標達成に向けて、事業の取組みの方法の工夫を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	R2年度に実施した市民アンケートの結果やKDBのデータ分析等を盛込むことと併せて、withコロナ時代の「健康の維持及び増進」について、本市の健康づくりの方針等について協議等をお世話になっている「健康づくり推進協議会委員」を始めとした専門職の方々の意見も取り入れながら、コロナ禍による社会変革に対応した計画内容となるよう内容を精査する。また、市の総合計画との整合性も図っていく。 本計画策定事業はR3年度で終了する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・アンケートで評価し、次期計画に生かすという整理は良い。スケジュール感をしっかりと持って事業を推進していただきたい。 ・計画を事業にどのように反映させ進めていくかという視点が必要である。 ・活動実績は「アンケート回収数」の計画数値の根拠を明示した上で、実績数値をあげると評価できる。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	旧医師会館解体撤去事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410386	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成31年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市公共施設マネジメント基本計画															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山医師会から寄贈された旧福知山医師会館を解体撤去し、その土地を有効活用する。					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,200		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		24,173		0					
	③ 繰越予算	△ 2,860		2,860		0					
	前年度繰越	0		2,860		0					
	次年度繰越	△ 2,860		0		0					
小計(①～③)		△ 660		27,033		0					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 60		360		0					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	△ 600		22,600		0					
	⑤ その他特財	0		4,073		0					
決算情報	① 流充用額	660		0		0		0			
	② 配当予算	0		27,033		0		0			
	③ 執行額	0		21,172		0		0			
	④ 執行率			78.3%							
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	560		560		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		560		21,732		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	旧医師会館解体撤去事業基金繰入		種類	基金繰入金		17,136		42	頁
			旧医師会館解体事業(除却)(繰越明許費分)			衛生債		2,000			
						実績金額				決算付属資料	
										52	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	工事進捗率	%		/	100 / 100	/	
	境界確定進捗率	%		/	5 / 30	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	解体撤去完了			/	完了 / 完了	/	
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づいた必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づいた効率的な事業である
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づいた有効的な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づいて事業を実施している(定性的評価)。		
これまでの課題及び今後の方向性	敷地内に大蔵省登記の土地が含まれていることが判明した。今後、近畿財務局との調整が必要であり、境界確定業務は令和3年度に持ち越すことになった。 福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づいた施設管理を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410378	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算付属資料	144・146	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	令和3年度		関連計画名										
根拠法令等	予防接種法・福知山市高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業実施要綱															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	肺炎は、日本人の死因の第3位であり、死亡者の95%以上が、65歳以上の高齢者で、肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌である。肺炎球菌ワクチンを接種することにより、肺炎の予防・重症化を防ぐことを目的とする。				
対象者	65・70・75・80・85・90・95・100歳の市民で予防接種未接種かつ接種を希望している者	対象者数	3,344	単位あたりコスト	3.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,511		4,075		4,848		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	4,511		4,075		4,848				
予算財源内訳	① 一般財源	4,511		4,075		4,848				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 1,018		408		0		0		
	② 配当予算	3,493		4,483		0		0		
	③ 執行額	3,465		4,470		0		0		
	④ 執行率	99.2%		99.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.92	/ 0.06	0.71	/ 0.36	0.71	/ 0.36	0.00	/ 0.00	
	② 概算人件費	7,510		6,580		6,580		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,975		11,050		6,580		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	肺炎での死亡者数(市)	人	48	未確定 / 0	未確定 / 0	/ 0	0
				/	/	/	
	接種者数	人	2064	662 / 1000	888 / 1000	/ 1000	1000
	単位あたりコスト		4.9	5.2	5.0		
	65歳の接種率(新規接種者)	%	56 / 60	20.5 / 60	52.3 / 60	/ 60	60
	単位あたりコスト		198.4	169.0	85.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種は法令上の業務である。肺炎は、日本における死因の第3位であり、特に、高齢者で基礎疾患がある人はリスクが高いため、肺炎予防の一つの方法として必要な手段である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・高齢者は定期的B類疾病であり、一定の接種者負担は妥当であるとする。ワクチン代相当。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	・成果目標については、統計情報がタイムリーに収集できないので、項目として妥当かどうか判断が付きにくい。 ・過去接種の有無は、接種者自身の申告でないと分からない部分もあるため、接種率との妥当性を、正しく把握できない点が課題。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・高齢者肺炎球菌予防接種は、法令上の義務であるため、令和5年度までは継続(H26開始) ・福知山市における肺炎での死亡者数が、上昇していないことから、一定の評価としていきたい。		
これまでの課題及び今後の方向性	・令和元年度から、令和5年度までは、新規の対象となる65歳と、再勧奨の対象となる70・75・80・85・90・95・100歳は、定期接種として事業を継続していく。(予防接種法の改正により、事業延長が確定。) ・新規で定期接種に対象となる65歳は接種率が低い、再勧奨の対象となる5年先まで本事業が継続しているかは国が決めることとなっている。そのため、65歳の人には未接種者勧奨ハガキの送付を次年度も継続し、接種率の向上を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410371	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算付属資料	144	頁
施策体系	施策コード	50103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	予防接種法、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱及び予防接種法第7条第2項の規定により読み替えて適用する第6条第1項に基づき、新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施することにより、感染を防ぎ、重症者や死亡者を減少させる。					
対象者	16歳以上の市民		対象者数	65,700	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		224,589		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		176,637		0								
	③ 繰越予算	0		△ 161,533		161,533								
	前年度繰越	0		0		161,533								
	次年度繰越	0		△ 161,533		0								
小計(①～③)		0		15,104		386,122								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		15,104		386,122								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		4,400		0		0						
	② 配当予算	0		19,504		0		0						
	③ 執行額	0		10,046		0		0						
	④ 執行率			51.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.64	/	0.00	0.64	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		5,120		5,120		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		15,166		5,120		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	令和2年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	10,046		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	新型コロナウイルス感染者数	人		/	77 / 0	/ 0	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	接種率(高齢者)	%		/	0 / 0	/ 100	
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・新型コロナウイルスワクチン接種は、感染症の発症を予防する効果があり、感染症のまん延の防止を図るために必要。 ・予防接種の実施主体は市町村となっている。 ・新型コロナウイルス感染者数は依然として発生が続いており、感染拡大防止のため市民の日常生活にも影響が出ていることから、予防接種を行う意義が高く、優先度も高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・接種費用は全額国が負担することとなり、被接種者の自己負担はない。 ・支出にあたっては、補助金・交付金の要綱等と照合を行い、適用されるものを支出している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・接種の実施にあたっては、医師会や薬剤師会と事前の協議を重ねながら進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・福知山市に配分されるワクチン供給量が少ないため、まだ一部の医療従事者しか年度内に接種を終えていない。 ・接種券の発送は、国や府からのワクチンの供給量を踏まえて、円滑に予防接種が実施できるよう、優先順位をつけながら発送していく。 ・市内の医療機関への説明会も開催し、予防接種を実施するための準備は進んでいる。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後、本格的にワクチン接種を開始するにあたり、必要な体制を整え、円滑にワクチン接種を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	健康増進計画推進事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410363	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市健康増進計画										
根拠法令等	健康増進法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市健康増進計画に基づき、市民が健康づくりに主体的に取り組み、健康活動が、市民運動となるよう、様々な取り組みを実施し、すべての市民が健康でいきいきとした生活を送ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,697		2,475		2,580		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0									
		前年度繰越	0		0		0						
		次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		2,697		2,475		2,580							
予算財源内訳	① 一般財源	2,697		2,475		2,580							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0				0			
	② 配当予算	2,697		2,475		0				0			
	③ 執行額	2,524		1,949		0				0			
	④ 執行率	93.6%		78.7%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	1.63	/	0.28	1.22	/	0.30	1.22	/	0.30	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	13,740		10,510		10,510				0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,264		12,459		10,510				0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	ウォーキングに取り組む人数	人	755/20000	939 / 20000	568 / 20000	/ 20000	20000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	健康活動ポイント事業応募者	人	1822/2000	1631 / 2000	869 / 2000	/ 2000	2000
	単位あたりコスト		2.0	1.5	2.2		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市民へ健康に関する正しい知識の普及と認識を持ってもらうことは、医療費削減の観点からも必要性が高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	市内の事業所を巻き込んで実施している事業もあり、効率性は高い。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市民の健康維持・増進及び健康管理を認識してもらうために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	健康活動が市民運動となるべく事業を展開している。指標にはウォーキングを挙げているが、メッツ(身体活動強度)換算等により様々な運動を取込むこととし、目標達成に向けて実施している。また、歩数の増加につなげるために、まずは自身の歩数を把握することを目的に各ウォーキングイベントにて歩数計の使用を促した。 インセンティブ事業である健康活動ポイント事業の応募者数は、現在集計中である。応募の内訳としては、個人の複数回が多く、継続した健康づくりに役立っている。今後もより多くの方の健康づくりのきっかけとなるよう、新規層や働き世代に対して啓発を進めていく。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市健康増進計画に基づく事業である。 重点項目として挙げている「身体活動・運動」におけるウォーキング事業やインセンティブ事業である「健康活動ポイント事業」を次年度も引き続き実施する。 R2年度は本計画の最終年度を迎えたため、計画の推進と並行し、市民アンケートを行った。最終評価や第2次計画の策定も実施しかけたが、withコロナ時代の健康増進についても盛り込むことが適当であることから、策定期間をR3年度に延期した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	女性のためのがん検診推進事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410361	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	昭和62(1987)	終了予定年度	令和3年度		関連計画名	-									
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。					
対象者	①子宮がん検診:20歳以上の奇数年齢 ②乳がん検診:40歳以上の奇数年齢		対象者数	28,211	単位あたりコスト	1.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	33,462		24,185		22,151		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
	小計(①～③)	33,462		24,185		22,151						
予算財源内訳	① 一般財源	32,416		23,182		21,359						
	② 国支出金	394		402		298						
	③ 府支出金	177		156		125						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	475		445		369						
決算情報	① 流充用額	△ 683		1,615		0		0				
	② 配当予算	32,779		25,800		0		0				
	③ 執行額	31,090		25,559		0		0				
	④ 執行率	94.8%		99.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.83	/	0.06	0.94	/	0.06	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	6,790		7,670		7,670		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		37,880		33,229		7,670		0				
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	疾病予防対策事業費等補助金		種類	衛生費国庫補助金		298		決算付属資料	18	頁
			乳がん検診・子宮がん検診自己負担金			雑入		352			46	
			市町村休日総合がん検診支援事業補助金			衛生費府補助金		189			28	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	がん発見人数(乳・子宮)	人	4/5・2/2	6/5・0/2	4/5・0/2	/5・/2	5・2
	要精密検査受診率(乳・子宮)	%	100/100・100/100	100/100・86.4/100	98.2/100・85.4/100	/100・/100	100・100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数(乳)	人	1444/1500	1415/1500	1605/1500	/1300	1300
	単位あたりコスト		19.9	22.0	15.9		
	受診者数(子宮)	人	2628/3251	2731/3251	1625/1700	/1700	1700
	単位あたりコスト		10.9	11.4	15.7		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	正しい知識の普及を含めた検診受診啓発をすることで、市民自らが、健康に関する意識を高め、自立した生活を送るために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	検診受診方法として、集団検診と個別検診(医療機関)があり、受診者が選択できる体制をとっている。また土日にも検診を受診できるよう日程を調整している。子宮がん検診では、市内以外の府内指定医療機関でも受診できるようになっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	検診を受け、早期発見・治療できることは市民にとっても健康で自立した生活につながり、本市にとっても医療費削減となるため、がん発見人数、精密検査受診率を成果実績としている点は妥当と考える。子宮がん検診においては、府下全体統一した流れで実施しているが、精密検査受診勧奨は独自で実施しており、子宮がん・乳がんともに精密検査受診率100%を目標に努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・健康日本21に目標項目として「がん検診の受診率向上」が掲げられている。また市民アンケート結果等より福知山市健康増進計画の中間見直しを行い、重点項目として【検(健)診】を掲げている。様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすい工夫している。 ・乳がん検診については、がん発見率は京都府や全国より高い。毎年がん発見者があり、早期発見・治療につながっていることは、一定の評価ができる。3次読影制度や症例検討会の実施が、高い精度管理を維持していると考えられる。 ・子宮がん検診については、令和2年度はがん発見者はいなかったが、過去5年間に6人のがんが見つかり、その他婦人科疾患等も検診で見つかり治療につながっていることは、一定の評価ができる。と考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も受診勧奨啓発をし、受診者数増加と継続受診、がんの早期発見・治療につなげ、医療費削減並びにがん死亡者数減少に努める。 令和2年度より、乳がん検診、子宮がん検診ともに2年に1回の隔年検診、対象年齢を年度末年齢が奇数の人に変更している。ただし、病気その他やむを得ない理由により、昨年度受診できなかった人は、偶数年齢であっても特例措置として受診できる。 乳がん検診においては、市民の生活圏域である綾部市での検診受診機会を確保する(綾部市立病院と個別契約を締結する)。また隔年受診のため、定期的な自己検診が早期発見につながり大切となる。検診の受診勧奨とともに自己検診の啓発を引き続き行う。 また、特に若い世代に対して、検診を若いうちから定期的に受診することが大切であると伝えるため、目にとまるようなポスターやチラシの作成に取り組みたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	成人健康診査事業												
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信				
会計情報	事業コード	410357	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	健康増進法、福知山市健康診査事業実施要綱												
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、健診の機会を保障することにより、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病を早期に発見し、食事・運動・禁煙など生活習慣改善をはかり、疾病を未然に防ぐことを目的とする。					
対象者	40歳以上の生活保護受給者等無保険者		対象者数	749	単位あたりコスト	6.3
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,883		782		782		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
	小計(①～③)	1,883		782		782						
予算財源内訳	① 一般財源	1,599		458		424						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	239		324		358						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	45		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	1,883		782		0		0				
	③ 執行額	1,675		511		0		0				
	④ 執行率	89.0%		65.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.55	/	0.06	0.51	/	0.06	0.51	/	0.00		
	② 概算人件費	4,550		4,230		4,230		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,225		4,741		4,230		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	健康増進事業		種類	衛生費府補助金		258		決算付属資料	28	
						実績金額						
											頁	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	161/170	149 / 170	45 / 60	/ 60	60
	要医療者受診率(集団健診)	%	50/60	43.8 / 60	該当者なし / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	委託医療機関数	件	34/34	34 / 34	33 / 34	/ 33	33
	単位あたりコスト		52.4	49.3	15.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、健診の機会を保障することにより、市民自らが健康に対する意識を高め、疾病の早期発見・早期治療を行い、医療費の削減に繋がる。市民にとって健康で生活をするために必要不可欠な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	様々な検診が一度で受診できる集団健診や個別健診(指定医療機関)を行い、受診者が受診方法を選択できる体制づくりを工夫している。新規または継続受診者を増やすため、40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、個別健診(指定医療機関)で受診できる受診票を個別通知している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	健診の機会を保障することにより、疾病の早期発見・早期治療を行い、市民の生活習慣を改善することで医療費の削減となるため、要医療者受診率を成果実績として掲げることが妥当である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新規または継続受診者を増やすため、40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、個別健診(指定医療機関)で受診できる受診票を個別通知している。また、様々な検診が一度に受診できる集団健診、個別健診の実施など、市民が受診しやすいように工夫している。また、個別健診を受け、要医療と判定された人の全員が医療機関を受診することができ、一定の評価はできるが、さらに受診率を上げる必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和3年度も40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、個別健診(指定医療機関)で受診できる受診票を個別通知し、健診受診のきっかけ作りを行うことで、さらなる新規または継続受診者を増やしていく。また、40歳以上の生活保護受給者等無保険者は循環器(脂質・血圧)の健康課題が多いため、社会福祉課と協議し、生活習慣を改善する方法を確立していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	肺がん・結核検診事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410332	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	150	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱、感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☒ その他 (府・他市協調実施)															
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合															
関連事業																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	肺がんは、日本人のがんによる死亡数の第1位である。肺がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、肺がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。 また、感染症である結核のハイリスク者層(高齢者)に結核検診を同時に実施することにより、結核の早期発見、蔓延防止につなげる。					
対象者	40歳以上の市民		対象者数	47,409	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,303		8,032		8,373		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		8,303		8,032		8,373							
予算財源内訳	① 一般財源	8,265		7,998		8,339							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	18		14		14							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	20		20		20							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	8,303		8,032		0		0					
	③ 執行額	7,257		5,829		0		0					
	④ 執行率	87.4%		72.6%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.59	/	0.35	0.72	/	0.06	0.72	/	0.06	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	5,595		5,910		5,910		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,852		11,739		5,910		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	肺がん検診自己負担金		種類	雑入		10		決算付属資料	46		頁
			市町村休日総合がん検診支援事業補助金			衛生費府補助金		17			28		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	がん発見人数	人	0.5	3 / 3	1 / 2	/ 3	2
	要精密検査受診率	%	98.0/100	93.7 / 100	97.6 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	1985/2269	1929 / 2269	1582 / 2269	/ 2269	2269
	単位あたりコスト		3.9	3.8	3.7		
	受診率	%	8.5/9.7	8.2 / 9.7	3.3 / 4.1	/ 4.7	4.7
	単位あたりコスト		913.4	885.0	1766.4		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	正しい知識の普及を含めた検診受診啓発をすることで、市民自らが、健康に関する意識を高め、自立した生活を送るために、必要な事業である。結核感染症まん延防止の点からも重要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	土日の検診実施、協会けんぽやローソンとの連携、予約なしで受けられる地域の公民館等での巡回検診実施、他健(検)診とセットで受けられるなど、受診しやすい体制をとっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	検診を受け、早期発見・早期治療することは、市民にとって健康で自立した生活につながり、本市にとっても医療費削減となる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	毎年がんが見つかり、令和2年度は1人のがんが見つかり、対象者の治療後の生活を考えると有益であり、本市にとっても医療費の削減につながっている。 受診者数や精密検査受診者には目標に達しなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により、検診の時期が冬にずれ込んだことや、会場数が減少したことが要因と考えられる。精密検査未受診者には、受診の必要性を再度伝え、少しでも精密検査受診率が上がるよう対応する。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域での巡回検診では、高齢化により年々受診者数が減っている。また、新型コロナウイルス感染予防対策として、検診委託業者より巡回検診も『予約制』でないと実施できないこと、会場集約をしないと委託を受けてもらえないことが、次年度の要件として提示された。 市としても、肺がん検診の意味合いだけでなく、厚生労働省が掲げている高齢者における結核発病患者の早期発見対策のために、80歳以上に特に重点を置いて結核検診を実施していかなくてはならない。会場を小学校区にするが、旧町エリアは送迎を使えるようにし、交通手段がない人や高齢者も受診しやすい体制を維持しながら、地域巡回検診は継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

事業属性

事業名	大腸がん検診事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410331	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	150	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成5(1993)		終了予定年度	令和3年度		関連計画名									
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。				
対象者	40歳以上の市民	対象者数	47,409	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,558		3,607		4,015		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		3,558		3,607		4,015							
予算財源内訳	① 一般財源	3,437		3,487		3,894							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	22		21		22							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	99		99		99							
決算情報	① 流充用額	166		0		0		0					
	② 配当予算	3,724		3,607		0		0					
	③ 執行額	3,645		3,280		0		0					
	④ 執行率	97.9%		90.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.45	/	0.40	0.52	/	0.25	0.52	/	0.25	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,600		4,785		4,785		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,245		8,065		4,785		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	大腸がん検診自己負担金		種類	雑入		75		決算付属資料	46		頁
			市町村休日総合がん検診支援事業補助金			衛生費府補助金		実績金額			22		

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	がん発見人数	人	10/12	10 / 12	8 / 12	/ 12	12
	要精密検査受診率	%	82.4/100	87.3 / 100	82.3 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	3208/3462	3359 / 3462	2870 / 3462	/ 3087	3460
	単位あたりコスト		1.1	1.1	1.1		
	検診受診率	%	13.7/14.8	14.4 / 14.8	6.1 / 14.8	/ 6.5	7.3
単位あたりコスト			251.2	253.1	537.7		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	大腸がん検診及び受診啓発をすることで、市民自らが健康に対する意識を高め、大腸がんの早期発見・早期治療に繋がる。これらは市民にとって健康で自立した生活を送るために必要不可欠な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	受診費用は個別検診委託料の平均の約1割と設定している。集団検診と個別検診(医療機関)で実施しており、受診者が選択できる体制をとっている。また、休日にも受診できる体制をとっている。検診申し込み方法についても、郵送・FAX・電話の他、Webでもできるよう体制をとっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	大腸がん検診を受け、早期発見・早期治療は市民にとっても健康で自立した生活に繋がり、本市にとって医療費削減となるため、がん発見人数、精密検査受診率を成果実績として掲げることは妥当である。検診受診率は目標に達していない。精密検査受診率の目標にも達していないが、個別通知や電話などで受診率向上に努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	毎年大腸がん、特に早期がんが発見され治療につながっており、一定の評価ができる。大腸がん検診の受診率向上のために、イベント時や各事業所へ受診啓発を行うなどしている。また、実施方法としても、様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすい工夫している。		
これまでの課題及び今後の方向性	検診受診率が目標に達していない。他の健(検)診とセットで受けられることを積極的に案内していく。令和3年度も協会けんぽとの連携で、大腸がん検診受診率の向上を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	胃がん検診事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410330	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	150	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	昭和37(1962)	終了予定年度	令和3年度		関連計画名										
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。平成20～24年度の福知山市における胃がん標準化死亡比は男性92.7、女性76.2と全国より低い水準にある。啓発を含めたがん検診事業を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、死亡率が少ない水準を維持する。				
対象者	①X線間接撮影・②内視鏡検査：50歳以上で偶数年齢の市民 ③胃ABC検査(血液検査)：20・25・30・35・40・45・46・47・48・49歳で過去に市が実施するABC検査を受けたことがない人	対象者数	27,732	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	6,064		8,376		8,249		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	6,064		8,376		8,249								
予算財源内訳	① 一般財源	5,239		7,626		7,954								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	475		475		20								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	350		275		275								
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,615		0		0						
	② 配当予算	6,064		6,761		0		0						
	③ 執行額	5,551		5,418		0		0						
	④ 執行率	91.5%		80.1%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.94	/	0.06	0.82	/	0.06	0.82	/	0.06	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	7,670		6,710		6,710		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,221		12,128		6,710		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	胃がん予防事業費補助金		種類	衛生費府補助金		実績金額	33		決算付属資料	28		頁
			胃がん検診自己負担金			雑入			169			46		
			市町村休日総合がん検診支援事業補助金			衛生費府補助金			23			28		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	がん発見人数	人	2/2	1 / 2	0 / 2	/ 2	2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	要精密検査受診率	%	87.1/100	83.6 / 100	88.7 / 100	/ 100	100
	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	1,093/1,106	993 / 1106	542 / 1106	/ 1106	1106
	単位あたりコスト		5.5	5.6	10.0		
	検診受診率	%	4.4/4.4	3.96 / 4.4	1.95 / 4.4	/ 2.2	4.4
	単位あたりコスト		1360.0	1401.9	2778.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	胃がん検診及び受診啓発をすることで、市民自らが健康に対する意識を高め、健診受診により胃がんの早期発見・早期治療に繋がる。これらは市民にとって健康で自立した生活を送るために必要不可欠な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすいよう工夫している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	胃がん検診を受け、早期発見・早期治療は市民にとっても健康で自立した生活に繋がり、本市にとって医療費削減となるため、がん発見人数、精密検査受診率を成果実績として掲げることは妥当である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市健康増進計画において、【健(検)診】を重点項目の1つとして掲げている。胃がん検診の受診率向上のために、イベント時や各事業所へ受診啓発を行うなどしている。また、実施方法としても、様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすいよう工夫している。 また、毎年胃がんが発見され、早期発見・早期治療につながり、医療費の削減に繋がっているため、一定の評価はできる。		
これまでの課題及び今後の方向性	ABC検査(血液検査)は、これまで集団検診でのみ実施してきたが、市民が受診しやすいよう、個別検診で受診できるよう医師会と調整している。 また、令和3年度も協会けんぽとの連携で、さらなる胃がん検診受診率の向上を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	前立腺がん検診事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410329	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	150	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成17(2005)		終了予定年度	令和3年度		関連計画名									
根拠法令等	がん対策基本法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。				
対象者	50歳以上の市民(男性)	対象者数	16.904	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,734		2,867		3,155		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		2,734		2,867		3,155							
予算財源内訳	① 一般財源	2,722		2,855		3,143							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	12		12		12							
決算情報	① 流充用額	49		0		0		0					
	② 配当予算	2,783		2,867		0		0					
	③ 執行額	2,764		2,227		0		0					
	④ 執行率	99.3%		77.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.53	/	0.08	0.63	/	0.06	0.63	/	0.06	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,440		5,190		5,190		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,204		7,417		5,190		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	前立腺がん検診自己負担金		種類	雑入		7		決算付属資料	46		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	がん発見人数	人	10/12	9 / 12	3 / 12	/ 12	12
	要精密検査受診率	%	70.5/100	89.2 / 100	65.0 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	1728/1800	1763 / 1800	1456 / 1817	/ 1817	1817
	単位あたりコスト		1.6	1.6	1.5		
	検診受診率	%	21.0/21.9	21.4 / 21.9	8.6 / 22.1	/ 10.0	15.0
	単位あたりコスト		133.1	129.2	259.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・健康日本21および福知山市健康増進計画において、【健(検)診】に掲げている。正しい知識の普及啓発を含めた受診啓発を行うことで、市民自らが健康に関する意識を高め、自立した生活を送るために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・集団検診と個別検診を実施し、土日検診の実施や集団検診の希望者には送迎を行い、1日で全ての検診が受診できる日を設定している。 ・費用負担は委託料の割に設定し、妥当である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	・検診を受診し、前立腺がんの早期発見・早期治療を行うことで、医療費の削減へつながる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、受診者数は令和元年度に比べて少なく、受診率は20%を下回った。また、集団検診開始が例年よりも遅かったためか、精密検査が終了している人も少ない。今後は受診勧奨時期を早めたり、受診勧奨方法を工夫し、精検受診率向上に努める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	健康日本21および福知山市健康増進計画において、【健(検)診】を掲げている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントでの受診啓発ができなかった。しかし、実施体制としては、様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすい工夫している。受診者数の減少はみられたが、毎年前立腺がんが発見され、早期発見・早期治療につながり、医療費の削減に繋がっているため、一定の評価はできる。		
これまでの課題及び今後の方向性	【検診受診率について】 血液検査で受けられるため、がん検診としては受診しやすく、福知山市のがん検診の中では受診率は高い。 【がん検診としての有効性について】 がん発見率も高く、早期に治療につながることがメリットであるが、すぐに生命予後に影響するがんではない場合も多いと指摘もある。国が推奨するがん検診からも外れており、今後は国や京都府の動向も確認しながら廃止も視野に入れた検討をしていくべき検診である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	成人保健事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410326	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算付属資料	148・150	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和3年度		関連計画名										
根拠法令等	健康増進法・福知山市健康教育実施要領・福知山市健康手帳交付事業交付要綱・機能訓練事業実施要領・国民の健康づくり地方推進事業実施要領															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	健康の保持増進のための知識の普及・情報提供・相談対応等により市民を支援し、市民自らが健康管理・疾病予防や健康づくりに取り組んでいくことを目的とする				
対象者	概ね20歳以上の市民 (但し、業務によっては40～64歳の市民)	対象者数	40,000	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,485		4,428		4,527		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		4,485		4,428		4,527							
予算財源内訳	① 一般財源	3,531		3,706		3,805							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	722		722		722							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	232		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	4,485		4,428		0		0					
	③ 執行額	4,025		3,481		0		0					
	④ 執行率	89.8%		78.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	2.50	/	0.71	2.32	/	0.66	2.32	/	0.66	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	21,775		20,210		20,210		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,800		23,691		20,210		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	健康増進事業			種類	衛生費府補助金		実績金額	708		決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	40～64歳の健康教室参加率	%	19.8	19.1 / 25	7.1 / 25	/ 25	25
	40～64歳のがん検診精密検査者の精密検査受診率	%	91.6	86.2 / 100	91.3 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	健康手帳交付数	冊	246	240 / 300	96 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		17.5	16.8	36.3		
	健康相談被指導延人数	人	1950	1927 / 2500	1378 / 2500	/ 2500	2500
	単位あたりコスト		2.2	2.1	2.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・健康手帳の交付、健康相談、健康教育、訪問指導は、市民の健康増進を目的とする健康増進法に基づく業務で、行政サービスとしての市民ニーズもある。 ・機能訓練は市独自事業であるが、法令事業の狭間にある年齢層を対象とした取組みが民間実施に広がっていないことから、引き続きの実施が必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・健康手帳の交付方法については、高齢の利用者が多い中、データをダウンロードしての交付に比較してノート型の手帳の交付のほうが低コストであることから、当面は現行の交付方法が妥当と判断。 ・健康教育については、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、引き続きターゲットとする40～64歳の市民の参加が増えるよう工夫しながら実施していく。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・健康教育や機能訓練については、事業実績を集計するとともに、アンケート等により質的な変化を把握して評価に役立てている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	目標: 40～65歳未満の利用者を増やす。 40～64歳の市民の行動変容を推察する数値を把握する 【健康教育】 健康増進事業としての健康教育は、ターゲットとする40～64歳の対象者が参加しやすいように、対象年齢を下げた健康教育を実施するとともに、40～64歳の人が利用しやすい条件を整える。 成果指標: 40～64歳の受講率 【健康相談・訪問指導】 定例健康相談や健(検)診結果返しにおいて40～64歳の利用者の行動変容に結びつく相談・指導に努める。 成果指標: ①40～64歳のがん検診精密検査者の精密検査受診率 ②定例健康相談40～64歳の利用率 ・健康教育は、新型コロナウイルスの影響で回数が89回(R元年226回)と減少したこと、大人数での実施が難しかったことから、参加者が1,178人(R元年3,201人)に減少した。これに伴い40～64歳の利用率は7.1%と目標には到達できなかった。 ・がん検診精密検査受診率は、40～64歳で91.3%であり、目標の達成は出来なかった。これはコロナの影響で健診の開始時期が例年より遅れたため、精検受診ができていないことが考えらる。 ・健康相談のうち定例健康相談の40～64歳の利用率は7.5%と低く、高齢者の利用が多い。		
これまでの課題及び今後の方向性	・本事業は、市民が疾病予防・健康増進に関する知識を身につけ、健康管理ができるよう支援するために、健康手帳の交付、訪問指導、健康相談、健康教室、機能訓練教室を実施するものである。市民が本事業を利用することが、市民自らが健康管理・疾病予防や健康づくりに取り組んでいることを示すものであるため、事業の利用総数の増加に取り組んでいきたい。 ・また、特に40～64歳の若い世代からの利用を促し、高齢期に至っても継続的に支援しながら健康寿命の延伸をはかっていきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	健康危機管理対策事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410323	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算付属資料	142	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法等															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス・食中毒・新型インフルエンザ・感染症その他の原因による健康被害の発生予防・拡大を防止し、健康危機に対する住民の不安を解消し、生命・健康の安心・安全確保を図る。					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	235		235		558		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		26,480		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		235		26,715		558							
予算財源内訳	① 一般財源	235		235		558							
	② 国支出金	0		26,480		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	28		△ 8,216		0		0					
	② 配当予算	263		18,499		0		0					
	③ 執行額	263		15,909		0		0					
	④ 執行率	100.0%		86.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.20	/	0.00	0.20	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,840		1,600		1,600		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,103		17,509		1,600		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	健康危機管理対策事業(地方創生臨時交付金)		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	15,687		決算付属資料	18	
													頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	集団食中毒発生件数	件	0/0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	食中毒注意報発令件数	件	8/4	7 / 4	5 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		31.8	37.5	3181.8		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	熱中症・感染症等市民の生命に影響する健康被害に関する予防、社会維持活動等の対策に必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	健康被害発生時には各部署及び京都府・民間等との連携が必要であり、組織的対応が効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	健康被害に関する対策として有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	健康被害の発生予防・拡大を防止し、健康危機に対する住民の不安などを解消し、生命・健康の安心・安全確保を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	安心・安全な町づくりを進めていくため、今後とも継続して事業を実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	インフルエンザ予防接種事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信							
会計情報	事業コード	410319	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算付属資料	142	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	—										
根拠法令等	予防接種法、福知山市高齢者インフルエンザ予防接種事業実施要綱、福知山市障害のある人のためのインフルエンザ予防接種実施要綱、福知山市インフルエンザ予防接種事業実施要綱															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	インフルエンザワクチン接種をすることで、インフルエンザの発症、重症化を防止し、社会的な流行を防ぐ。 令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大とインフルエンザの流行が同時期に起こることを生じる市民の不安軽減や同時罹患による重症化を防ぐために対象者を拡充、集団免疫を獲得する。					
対象者	接種日において、65歳以上の高齢者／64歳以下で障害のある人／64歳以下で基礎疾患をもつ人／妊婦／中学生以下の子ども		対象者数	40,399	単位あたりコスト	3.7
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	53,090		54,436		60,009		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		89,106		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	53,090		143,542		60,009							
予算財源内訳	① 一般財源	53,090		54,436		60,009							
	② 国支出金	0		83,697		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		5,409		0							
決算情報	① 流充用額	3,201		0		0		0					
	② 配当予算	56,291		143,542		0		0					
	③ 執行額	56,236		142,115		0		0					
	④ 執行率	99.9%		99.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	1.05	/	0.08	1.07	/	0.32	1.07	/	0.32	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	8,600		9,360		9,360		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		64,836		151,475		9,360		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	インフルエンザ予防接種事業(地方創生臨時交付金)		種類	衛生費国庫補助金		88,151		決算付属資料	18		頁
			保健衛生費指定寄附金			衛生費指定寄附金		実績金額			6,410		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	インフルエンザ死亡者数	人	3/0	未確定 /	未確定 /	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	接種率(高齢者)	%	56.3/100	58.2 / 100	72.9 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		946.6	966.2	1949.5		
	接種率(障害のある人)	%	72.1/100	72.7 / 100	78.2 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		739.1	773.5	1817.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・高齢者インフルエンザ予防接種は法令上の業務である。2018年はインフルエンザが原因で死亡した人は3,000人を超え、京都府は70人であった(厚生労働省統計、京都府統計)。中でも、高齢者・障害のある人はリスクが高く重症化しやすいため、社会的な流行を防ぐためにも必要である。 ・特に、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の同時流行により、インフルエンザの重症化が懸念されたため、対象者の拡充は必要であった。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・高齢者は定期的B類疾病、障害のある人は、任意の予防接種であるため、一定の接種者負担は妥当であると考えられる。ただし、令和2年度のみ、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ予防接種の同時流行を防ぐため、費用を無料とし、対象者も拡充して実施。 ・ホームページ内容の充実や理解しやすい書類の工夫で、事業の効率化を図る。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	・成果目標については、統計情報がタイムリーに収集できないので、項目として妥当かどうか判断がつきにくい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・接種者数 ①高齢者:実16,832人(延16,835人 重複接種3人) ②障害のある人:587人 ③64歳以下で基礎疾患をもつ人:2,722人 ④妊婦:298人 ⑤中学生以下の子ども:実6,357人(延9,681人) ・令和2年度の接種率は、①高齢者:72.9% ②障害のある人:78.2% ③64歳以下で基礎疾患をもつ人:53.0% ④妊婦49.7% ⑤中学生以下の子ども58.8%である。例年対象である高齢者と障害のある人は、接種率が上昇した。新型コロナウイルス感染症とハイリスク者が無料であったことが影響していると考えられる。 ・高齢者インフルエンザ予防接種事業は法定上の事業であり、今後も継続していく。障害者についてもリスクが高く重症化しやすいため、インフルエンザの発症や重症化を防止し、社会的な流行を防ぐために実施する。現在、インフルエンザ起因による死亡者が急増していないので、一定の評価としたい。		
これまでの課題及び今後の方向性	・法定上の業務であるため、今後も継続して出来る限り対象者への周知を図っていく。成果目標については、統計情報がタイムリーに収集できないため、項目として妥当かどうか判断がつきにくい。また、B類疾病の予防接種なので、接種率を出すべきどうか判断しにくい。 ・令和2年度はハイリスク者を無料としたため、事前申請が不要であった。しかし、令和3年度以降は自己負担金を設定しているため事前申請が必要となる。無料手続きについては、マイナンバーや本人確認書類が必要になるため、窓口が混雑することが課題である。また、その後の事務処理も多い。接種者数は増加しているため、円滑な確認作業や申請書の工夫など、事務作業の効率化を目指す必要がある。 ・障害のある人では、今後も継続して障害者福祉課に協力を得ていく。しかし、本市で手帳を発行した人しか把握できないため、本市に住民票はあるが他市で交付された人の正確な数を把握できず、個別案内ができていない。現在は、施設からの申請と本人や家族からの申請にて対応している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	保健福祉センター維持管理事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信							
会計情報	事業コード	410313	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
施策体系	施策コード	050103		施策名	市民の健康を増進する											
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名									
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	円滑な健康推進事業の推進に向けて保健福祉センターを継続して維持管理していく					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,670		3,658		4,903		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	3,670		3,658		4,903								
予算財源内訳	① 一般財源	3,454		3,486		4,619								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	216		172		284								
決算情報	① 流充用額	△ 55		171		0		0						
	② 配当予算	3,615		3,829		0		0						
	③ 執行額	3,611		3,600		0		0						
	④ 執行率	99.9%		94.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.32	/	0.00	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,560		2,160		2,160		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,171		5,760		2,160		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	電柱占用料		種類	衛生使用料		実績金額	10		決算付属資料	10		頁
			北部保健福祉センター光熱水費			雑入			298			46		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一般維持管理経費のためなし	—		/	/	/	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一般維持管理経費のためなし	—		/	/	/	
	単位あたりコスト						
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	適切な施設維持管理を行うための事業として効率的な事業である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	施設を維持管理していく上で、本事業は有効的な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	一般庁用経費。適切な施設維持管理ができたと考える(定性的評価)。		
これまでの課題及び今後の方向性	適切な施設維持管理のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員1人1人の意識を高める。 令和3年度は、北部保健福祉センターのエレベータにおいて、年次検査で経年劣化による不適格判定があったため、当該エレベータの部品交換修理を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	予防接種健康被害対策事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信							
会計情報	事業コード	410311	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	昭和57年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	予防接種法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・予防接種法第11条の規定による予防接種健康被害認定者に予防接種救済給付〔障害年金・医療費・医療手当〕を行う。 ・予防接種健康被害発生に際し、調査委員会を設置し、医学的見地から調査を行う。 ・認定者に障害年金等を支給することで、健康被害に対する救済措置を行う。					
対象者	予防接種健康被害認定者		対象者数	2	単位あたりコスト	1,698.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,014		3,293		3,341		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		3,014		3,293		3,341								
予算財源内訳	① 一般財源	773		842		854								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	2,241		2,451		2,487								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	204		48		0		0						
	② 配当予算	3,218		3,341		0		0						
	③ 執行額	3,193		3,317		0		0						
	④ 執行率	99.2%		99.3%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.06	/	0.00	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00				
	② 概算人件費	480		80		80		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,673		3,397		80		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	予防接種事故対策事業		種類	衛生費府補助金		実績金額	2,487		決算付属資料	28		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	救済給付事業のためなし	—	0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画			/	/	/	/	
	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	調査委員会開催回数	回	0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	予防接種による健康被害を救済するために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	予防接種法及び規則等に基づく給付により、健康被害に対する救済措置行うことは効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	予防接種による健康被害に対して救済給付することは有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	予防接種による健康被害に対しての救済給付である(定性的評価)。		
これまでの課題及び今後の方向性	予防接種による健康被害に対しての救済給付であり、継続が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	保健衛生一般経費事業(健康医療課)												
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課					所属長	足立 正信					
会計情報	事業コード	410301	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	円滑な健康推進事業の推進												
対象者	全市民					対象者数	80,000		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	㈱ケーケーシー情報システム												
事業概要 (箇条書き)	・事業運営に係る一般庁用経費 ・総合健康管理システム経費 ・各種研修経費 ・賠償保険料												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報酬・職員手当	2,337	職員報酬・期末手当										
	旅費・需用費	412	研修会等参加旅費・消耗品費・印刷製本費										
	役務費・委託料	2,397	郵送料ほか・システム保守管理										
	使用料及び賃借料	272	デジタル複合機賃借										
	負担金補助及び交付金	26	負担金										

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	13,924	4,028	5,909	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)		13,924	4,028	5,909					
予算財源内訳	① 一般財源	13,586	3,863	5,909					
	② 国支出金	338	165	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	842	2,119	0	0				
	② 配当予算	14,766	6,147	0	0				
	③ 執行額	10,776	5,444	0	0				
	④ 執行率	73.0%	88.6%						
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.39 / 0.00	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,120	1,680	1,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,896	7,124	1,680	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一般庁用経費のためなし	—		/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一般庁用経費のためなし	—		/	/	/	
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	市民の適切な健康増進のための事業として効率的な事業である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市民の適切な健康推進を進めるに当たって、有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	一般庁用経費。円滑に健康推進事業を推進できたと考える(定性的評価)。		
これまでの課題及び今後の方向性	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員1人1人の意識を高め、日々の業務を遂行する。 令和3年度は、胃内視鏡検査の受診者情報の管理や新型インフルエンザ等予防接種、健康増進法に関する情報連携に向けて、健康管理システムの改修を予定している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	休日急患診療所費運営経費(職員人件費)												
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信			
会計情報	事業コード	410211	款	01 休日急患診療所費	項	01 診療所費	目	01 総務管理費	会計	08 休日急患	決算付属資料	284	頁
施策体系	施策コード	050102	施策名	救急医療を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	医療法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与するという目的で開設している休日急患診療所を継続的に運営していく。				
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,158		4,178		2,600		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		4,158		4,178		2,600						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	0		4,178		2,600						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	4,158		4,178		0		0				
	③ 執行額	4,125		4,006		0		0				
	④ 執行率	99.2%		95.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	0		0		0		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,125		4,006		0		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	一般会計繰入金		種類	他会計繰入金		4,006		決算付属資料	282	頁
						実績金額						

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	1311/1400	1578 / 1400	367 / 1600	/ 1600	1600
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	診療日数	日	72/72	76 / 76	71 / 71	/ 71	71
	単位あたりコスト		204.9	54.3	56.4		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与することを達成し、また、新型コロナウイルス等の感染症を含めた初期救急医療として、地域医療連携し救急医療体制の充実を図っていくために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与するため効率的な事業である。しかし、新型コロナウイルスの影響により単価あたりのコストが高い。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与すること、また、新型コロナウイルスの対応を含めた二次救急の負担軽減に有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	診療所を運営する最低限の経費		
これまでの課題及び今後の方向性	診療所を運営のため、必要最低限な経費は必要。最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	休日急患診療所費運営経費												
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信				
会計情報	事業コード	410210	款	01 休日急患診療所費	項	01 診療所費	目	02 医薬費	会計	08 休日急患	決算付属資料	284	頁
施策体系	施策コード	050102	施策名	救急医療を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	医療法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与するという目的で開設している休日急患診療所を継続的に運営していく。				
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	14,661		13,751		13,724		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		999		0					
	③ 繰越予算	0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
	小計(①～③)	14,661		14,750		13,724					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0				0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	14,661		14,750		13,724					
決算情報	① 流充用額	0		△ 39		0		0			
	② 配当予算	14,661		14,711		0		0			
	③ 執行額	15,507		13,247		0		0			
	④ 執行率	105.8%		90.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.05	/	0.40	0.03	/	0.40	0.03	/	0.00	
	② 概算人件費	1,400		1,240		1,240		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,907		14,487		1,240		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福祉医療給付金・国保連合会診療報酬		種類	診療収入		83		282	
			診断書及び証明書手数料			文書料		1			
			一般会計繰入金			他会計繰入金		13,163			
					実績金額			決算付属資料		282	頁
										282	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受診者数	人	1311/1400	1578 / 1400	367 / 1600	/ 1600	1600
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	診療日数	日	72/72	76 / 76	71 / 71	/ 71	71
	単位あたりコスト		204.9	204.0	186.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与することを達成し、また、新型コロナウイルス等の感染症を含めた初期救急医療として、地域医療連携し救急医療体制の充実を図っていくために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与するため効率的な事業である。しかし、新型コロナウイルスの影響により単価あたりのコストが高い。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与すること、また、新型コロナウイルスの対応を含めた二次救急の負担軽減に有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	診療所を運営する最低限の経費		
これまでの課題及び今後の方向性	診療所を運営のため、必要最低限な経費は必要。最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	休日急患診療所費維持管理経費												
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信			
会計情報	事業コード	410208	款	01 休日急患診療所費	項	01 診療所費	目	01 総務管理費	会計	08 休日急患	決算付属資料	284	頁
施策体系	施策コード	050102	施策名	救急医療を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	医療法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与するという目的で開設している休日急患診療所を継続的に維持管理していく。				
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,926		2,857		7,228		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		1,200		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		2,926		4,057		7,228						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	0		0		429						
	③ 府支出金	0		1,200		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	2,926		2,857		6,799						
決算情報	① 流充用額	0		39		0		0				
	② 配当予算	2,926		4,096		0		0				
	③ 執行額	2,837		4,084		0		0				
	④ 執行率	97.0%		99.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.05	/	0.40	0.03	/	0.40	0.03	/	0.00		
	② 概算人件費	1,400		1,240		1,240		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,237		5,324		1,240		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金		種類	休日急患診療所費府補助金		1,000		決算付属資料	282	頁
			新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付金			休日急患診療所費府補助金		150			282	
			診療収入(窓口)・社保支払基金			診療収入		2,204			282	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	維持管理経費のためなし		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	維持管理経費のためなし		/	/	/	/	
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与することを達成し、また、新型コロナウイルス等の感染症を含めた初期救急医療として、地域医療連携し救急医療体制の充実を図っていくために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与するため効率的な事業である。しかし、新型コロナウイルスの影響により単価あたりのコストが高い。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	休日(日曜日・祝日・年末年始)において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診察を行い、もって市民の健康の保持及び増進に寄与すること、また、新型コロナウイルスの対応を含めた二次救急の負担軽減に有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	診療所の運営する最低限の経費		
これまでの課題及び今後の方向性	診療所の運営のため、必要最低限な経費は必要。 最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	献血・骨髄バンク推進事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	足立 正信							
会計情報	事業コード	410207	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	138・140	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する												
計画期間	開始年度	昭和42年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名									
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律・福知山市骨髄ドナー助成事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・輸血用血液製剤をはじめとする血液需要に見合う安全な血液を、将来にわたって安定的に確保するため献血の推進を図る。 ・骨髄バンク登録者の確保のための取組み。					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	336		336		1,176		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		834		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	336		1,170		1,176								
予算財源内訳	① 一般財源	266		890		896								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	70		280		280								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	420		0		0		0						
	② 配当予算	756		1,170		0		0						
	③ 執行額	756		1,143		0		0						
	④ 執行率	100.0%		97.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.11	/	0.00	0.11	/	0.00				
	② 概算人件費	1,040		880		880		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,796		2,023		880		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	骨髄ドナー助成事業補助金		種類	衛生費府補助金		実績金額	280		決算付属資料	28		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間採血者数	人	3712 / 4000	3890 / 4000	4435 / 4000	/ 4000	4000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	移動採血車により献血を実施	日	57/55	57 / 55	72 / 58	/ 60	60
	単位あたりコスト		8.4	13.3	15.9		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	人工的に製造できない血液・骨髄の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与・普及啓発は妥当と考える。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	赤十字血液センター・骨髄バンクボランティアと連携し、献血協力団体・会場・ボランティア調整を役割分担して実施しており、効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	献血協力団体と連携し、ボランティアによる献血活動の協力により事業が実施でき、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	人工的に製造できない血液・骨髄の供給には、献血と骨髄バンク踏力が必要であり、献血等協力団体・個人への関与・普及啓発が必要と考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	献血者数が減少している中、安心安全な町づくりのため、血液需要に見合う血液を安定的に確保する。 ○重点項目 ・安定的な集団献血の確保 ・複数回献血の増加 ・若年層の献血者数の増加		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	救急医療体制運営事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410206	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	138	頁
施策体系	施策コード	050102	施策名	救急医療を充実させる												
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	外科救急並びに休日の夜間、長期休日の歯科における急患の医療を在宅当番医で実施することにより、初期救急の充実と併せて休日の入院を必要とする重症者を受け入れる二次救急の支援を図る。 このことにより、市民はいつでも安心して診療を受けることができる。					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	16,681		14,831		14,882		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		16,681		14,831		14,882							
予算財源内訳	① 一般財源	16,681		14,831		14,882							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	558		0		0		0					
	② 配当予算	17,239		14,831		0		0					
	③ 執行額	17,239		14,690		0		0					
	④ 執行率	100.0%		99.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.12	/	0.00	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	960		80		80		80		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,199		14,770		80		80		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	休日歯科診療所受診者数	人	33 / 36	45 / 36	29 / 36	/ 36	36
	休日急患診療所受診者数	人	1311/1400	1578 / 1400	367 / 1600	/ 1600	1600
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	休日急患診療所開設日数	日	72 / 72	76 / 76	71 / 71	/ 71	71
	単位あたりコスト		225.6	226.8	206.9		
	休日歯科診療所開設日数	日	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		4060.8	4309.6	3672.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市民が安心して医療を受けるためには、夜間及び休日に患者を受け入れる医療機関を確保することが必要である。安心安全な町づくりのため、外部への委託は馴染まない。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	救急医療体制を維持できる医療機関は限られることから、削減余地はない。急な発病や負傷をした際には、誰でも診療を受けられることから、受益機会は均等である。
有 効 性	・成果目標は理にかなう、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	利用者数を増加させることが目的ではないが、利用者数を見ることで医療情報が市民に適切に提供されているかどうかを測ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	年間を通じ、夜間・休日等の救急医療体制を確保した結果、市民はいつでも安心して医療を受けることができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	重症患者への医療確保は、安心して暮らせる町づくりとして欠かせない。今後人口は減少するものの、救急医療の需要が減少することは想定しづらく、これからも引き続き救急告示病院として協力していただけるよう、体制維持のための支援は責任をもって実施していかなければならない。 また、引き続き市民に対し、救急医療体制についての周知広報をホームページや広報ふくちやま等を利用し実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	地域医療・医療従事者養成確保事業															
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課							所属長	足立 正信						
会計情報	事業コード	410116	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	138	頁
施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる												
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	医療法、看護師等の人材確保の促進に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市域の医療従事者の確保のため、福知山医師会看護高等専修学校を運営する事業費に対して補助金を交付することで、市民の安全安心なまちづくりを図る。					
対象者	全市民		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,420		3,420		3,420		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	3,420		3,420		3,420							
予算財源内訳	① 一般財源	3,420		1,620		3,420							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		1,800		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	3,420		3,420		0		0					
	③ 執行額	3,420		3,420		0		0					
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	400		80		80		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,820		3,500		80		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	卒業生地元進学・就職に至った人数(現役)	人	21/27	18 / 27	19 / 26	/ 20	20
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	福知山医師会看護高等専修学校卒業生	人	27/ 26	27 / 27	27 / 26	/ 26	26
	単位あたりコスト		126.7	126.7	126.7		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市域の医療従事者確保のために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	H29年度より、医師養成確保奨学金事業及び医師研究事業費補助金については福知山市病院事業会計として移管しており、支援としては効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	毎年卒業生が本市内に進学・就職しており、不足する医療人材の確保に対して有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山医師会看護高等専修学校に対して支援を行うことで、卒業生が毎年本市内に進学・就職することにつながっている。現状としては、都心部では、看護師等確保は争奪戦であり、本市域でも看護師確保は必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	安心安全な町づくりに資するため、引き続き実施する(今後も福知山医師会看護高等専修学校と連携し、医療従事者の確保について補助する)。 * H29年度より、医師養成確保奨学金事業及び医師研究事業費補助金については福知山市病院事業会計として移管した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--